2026年11月13日

各　位

会 社 名　　ＥＮＥＯＳホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役 社長執行役員 宮田 知秀
ｺｰﾄﾞ番号　　5020　東証プライム・名証プレミア
問合せ先　　ｲﾝﾍﾞｽﾀｰ･ﾘﾚｰｼｮﾝｽﾞ部 IR ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ
菅野 裕二
（電話番号　　03-6257-7075）

# （訂正）「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」の一部訂正について

2026年11月11日に公表いたしました「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」の記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

１．訂正の理由

「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」の公表後、「１．当中間決算に関する定性的情報（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」の売上高に誤りがあることが判明したため、訂正するものです。なお、本訂正による連結業績予想の変更はございません。

２．訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しています。

「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」５ページ

【訂正前】

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回（2026年５月14日）公表した、通期の連結業績予想を修正します。なお、本連結業績予想は、通期平均で、原油価格（ドバイ原油）；１バーレル当たり95ドル(10～12月100ドル、１月以降90ドル)、円の対米ドル相場；157円（10月以降155円）を前提としています。(前回予想：原油価格；１バーレル当たり85ドル、円の対米ドル相場；155円)

売上高は13兆860億円（前回予想12兆8,500億円)、営業利益は9,100億円（前回予想比3,000億円の増益)、税引前利益は8,900億円（前回予想比3,000億円の増益)、親会社の所有者に帰属する当期利益は6,150億円（前回予想比2,000億円の増益）となる見通しです。

（省略）

【訂正後】

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回（2026年５月14日）公表した、通期の連結業績予想を修正します。なお、本連結業績予想は、通期平均で、原油価格（ドバイ原油）；１バーレル当たり95ドル(10～12月100ドル、１月以降90ドル)、円の対米ドル相場；157円（10月以降155円）を前提としています。(前回予想：原油価格；１バーレル当たり85ドル、円の対米ドル相場；155円)

売上高は13兆8,600億円（前回予想12兆8,500億円)、営業利益は9,100億円（前回予想比3,000億円の増益)、税引前利益は8,900億円（前回予想比3,000億円の増益)、親会社の所有者に帰属する当期利益は6,150億円（前回予想比2,000億円の増益）となる見通しです。

（省略）

以　上